

次に、町が事業主体ではありませんが、民間企業との連携を進めております。第2次矢代田駅西側開発の件であります。平成7年3月に着手してから早くも2ヶ年の時日を費やしているところでありますが、開発予定面積が37ヘクタールと云う大

規模であり、各種規制による制約がある為その開発許可取得の手續きに時日を要しておりますが、今後とも国・県ご当局のご理解を頂くよう努力してまいります。企業側もこの開発には意欲的でありますので、町といたしましても民間活力導入と

町の活性化を考え合せる時、この事業は千載一遇の好機として認識し、事業化に向けて懸命に努力してまいりる所存であります。議会並びに町民皆様の陰に、陽にのご支援・ご協力をお願い申し上げます。

農・工・商について

農業、特に米作農業については相も変わらず厳しい減反政策が続けられていますが、歴史的に培ってきた増産の為の農地の基盤整備や生産技術が一〇〇%生かしきれない現実を誠に勿体ない限りであります。

報道で知られる某隣国の、一日一食の配給という食料危機の状態と比較してみると、我が国の主食であるコメ農業の実情を喜ぶべきか、悲しむべきか、判断に苦しむところでもあります。そして、穀物自給率三〇%と言う我が国の実態を思う時、コメの生産基盤は確実に保持しなければなりません。

当町としてはこれらを踏まえて、実りある農業を目指して取り組んでいるところでありますが、今後は新たに美田の保持と、耕作者減少傾向に対応した生産者集団の組織化を図りながら、コメ生産の安定の為に取り組んでまいります。

また転作作物についても、特産生産物の産出のために例年試行しているところではありますが、なかなか成果を見出すところには至っていません。状況であります。しかし、今後さらなる努力を尽くし転作特産物の産出に努めたいと思っております。一方、特産である花き・花木等の

園芸振興については、関係者のご意見、ご要望等をよく聞き、検討して一層の発展、振興を図ってまいりる所存であります。

商工業については、相も変わらず不況の中で関係者並びに企業皆様の懸命なる努力を頂いているところではあります。さらなる努力をお願い申し上げます。尚、町といたしましては限りある行財政の枠の中ではあります。現行の諸施策の他に、ご提言・ご要望等を頂きながら前向きに検討をさせて頂く所存であります。

福祉と文教について

福祉については、小須戸町保健医療福祉計画に沿って諸業務を行って

いるところでありますが、特に在宅介護支援事業とその活動については、

センターの利用度は既に飽和状態となり、新たな対策が必要となっておりましたので今後の課題として検討してまいります。

また特別養護老人ホームについては、新規の福祉法人設立に規制も加わり、既存の福祉法人への参入が必要となつてまいりましたし、当町としては、現在の国・県の状況並びに当町財政の現況からして、直ぐには建設方針を打ち出せないところであり

ます。しかし、年月を経て状況の変化と必然性を勘案して、検討すべき時も考慮しておくことも必要かと思われ

ます。

福祉行政の全般については、従来通り「きめ細やかな福祉のある町づくり」を基本として取り組んでまいります。

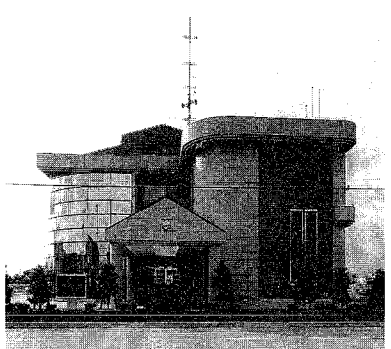
文教関係につきましては、施設改善等の急務なものから対応しているところでありますが、年次計画を定めて実施してまいります。

また、文部省指導による築後20年以上の校舎等について、耐震性の検査及び耐震構造への改善が義務付けられてまいりましたので、これらについても今後の課題として検討していかねければならないと思っております。

ます。

学校教育、社会教育、スポーツの振興等については関係各位のご熱意により、大変内容のある充実したものとさせて頂いております。今後とも更なる発展に、ご尽力賜りますようお願い申し上げます。行政当局としてもそれらの振興・発展の為に努めてまいりる所存であります。

昨年も大変よい成果がありました。町民皆様から参加を頂いた海外研修も今後も継続的に実施してまいりたいと思っております。



白根地区消防本部新庁舎

広域関連事業について

広域関連事業としては、昨年12月に竣工いたしました白根地区消防本部新庁舎の完成により、ゴミ処理施設グリーンタワーとともに計画された大事業は完了いたしました。

今後はゴミ処理の問題として、ゴ

ミの分別収集の徹底、指定ゴミ袋の有料化等の方向で対応が急がれてまいりましたので、その節は町民皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。次第であります。

また特別養護老人ホームにつきま

しては、白根市の「しろね福祉会」の「しなの園」、亀田町の「中浦福祉会」の「向陽の里」及び併設される身体障害者療養施設「あさひ園」も、計画通り平成9年度開所に向かって順調に進んでいるところであります。

以上、平成9年度の行政と、それに関連した案件について所信を述べさせて頂きました。

何かと厳しい情勢の中ではありますが、「明るく活き活きとした活力ある町づくり、きめ細やかな福祉のある町づくり」を基本として、希望を創生しつつ、一歩一歩進んでまいりたいと存じます。

私をはじめとして職員一同、心を一つにして、真摯な気持ちで町民皆様の負託にお応えし、更なるご信頼を得られるように努めてまいりる所存でありますので、議員各位並びに町民皆様の一層のご協力を賜りますようお願い申し上げます。施政方針の開陳を終わらせて頂きます。



ボケ展